

# 資源評価調査事業－Ⅲ

## 定置網漁獲統計調査

宮本敦史

### 目的

定置網に関する詳細な漁況情報を蓄積し、資源管理を行っていくための基礎資料とすることを目的とする。

### 方法

三重県内の大型定置網漁場のうち、波切・片田・和具・阿曾・贅浦・方座・錦・長島・島勝・九鬼1号・九鬼2号・早田・梶賀・磯崎・木本・阿田和1号・阿田和2号の17漁場を対象に、令和5定置年度（令和5（2023）年10月～令和6（2024）年9月）の魚種別漁獲量を調査した。

### 結果及び考察

令和5定置年度の総漁獲量は4,680トンで、前年度の100%、過去10年平均の75%であった。魚種別ではブリ（6kg以上のブリ）が2,113トンで全魚種の45%を占めた。次いでマアジが406トン、ワラサ（2～6kgのブリ）が313トン、マルソウダが239トン、サバ類が169トンの漁獲があり、上位5種で全体の69%を占めた。

漁獲量10トン以上の魚種の中で前年度と比較して漁獲が増加したのは、チダイ（前年度比312%）、ウルメイワシ（同311%）、アカカマス（同306%）、マルソウダ（同250%）、トビウオ（同221%）、ケンサキイカ（同192%）、マルアジ（同162%）、アオリイカ（同161%）、マダイ（同155%）、スルメイカ（同155%）、ヘダイ（同147%）、ヒラソウダ（同143%）、ヤマトカマス（同141%）、イワシ類（同133%）、イシダイ（同132%）、イサキ（同132%）、その他アジ類（同132%）、ブリ（同124%）、マグロ類（同121%）、ムツ（同115%）、ウスバハギ（同113%）であった。

逆に減少した魚種は、ワラサ（前年度比31%）、サワラ（同39%）、カタクチイワシ（同43%）、イナダ（同58%）、メジナ（同72%）、サバフグ類（同79%）、カンパチ（同80%）、シイラ（同85%）等であった。

ブリ（6kg以上）の全漁獲尾数は、前年度の111%となる272,924尾で、過去50年で7番目の漁獲尾数であった（図1上段）。ブリのまとまった入網は3月上旬から4月中旬に集中してみられ、4月だけで全体の49%、3月～4月では全体の91%が漁獲された。全漁場合計の漁獲尾数が最も多かった日は4月14日の16,323尾であり、

表1. 全漁場魚種別漁獲量

令和5(2023)年10月～令和6(2024)年9月			
順位	魚種名	漁獲量(kg)	相対度数(%)
1	ブリ	2,112,728	45.140
2	マアジ	406,386	8.682
3	ワラサ	312,534	6.674
4	マルソウダ	239,220	5.111
5	サバ類	168,548	3.601
6	シイラ	146,724	3.135
7	イサキ	145,940	3.118
8	その他アジ類	119,436	2.552
9	ウルメイワシ	97,260	2.078
10	マダイ	75,148	1.606
11	マグロ類	72,777	1.555
12	カンパチ	66,302	1.417
13	マルアジ	54,972	1.174
14	ヤマトカマス	42,367	0.905
15	イワシ類	35,780	0.764
16	サワラ	35,216	0.752
17	スルメイカ	30,853	0.659
18	サバフグ類	30,774	0.657
19	イシダイ	29,189	0.624
20	ヘダイ	25,428	0.543
21	ヒラソウダ	23,207	0.496
22	メジナ	21,966	0.469
23	アカカマス	21,322	0.456
24	ウスバハギ	20,677	0.442
25	アオリイカ	17,578	0.376
26	チダイ	17,079	0.365
27	ケンサキイカ	15,495	0.331
28	ムツ	15,394	0.329
29	カタクチイワシ	15,116	0.323
30	トビウオ類	14,187	0.303
31	イナダ	11,044	0.236
32	ツバス	8,975	0.192
33	コショウダイ	6,400	0.137
34	ヒラマサ	6,333	0.135
35	ヒラメ	5,193	0.111
36	ハガツオ	5,056	0.108
37	タチウオ	4,070	0.087
38	カマス類	3,641	0.078
39	ボラ	3,559	0.076
40	マイワシ	3,415	0.073
41	クロダイ	3,027	0.065
42	カワハギ	2,882	0.062
43	カツオ	1,657	0.035
44	マトウダイ	1,518	0.032
45	スズキ	1,315	0.028
46	その他イカ類	1,182	0.025
47	ヒラスズキ	798	0.017
48	ウマヅラハギ	784	0.017
49	ヤリイカ	66	0.001
50	その他雑魚	180,121	3.848
合計		4,680,634	100.000

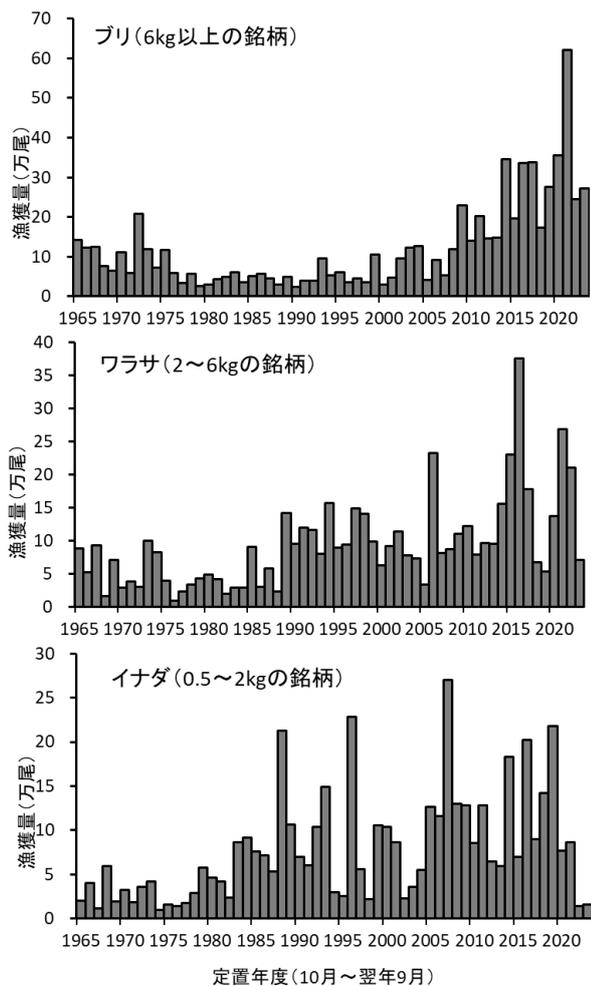


図1. ブリ銘柄別の漁獲尾数の推移（1965～2023 定置年度）. 上段がブリ（6kg以上の銘柄），中段がワラサ（2～6kgの銘柄），下段がイナダ（0.5～2kgの銘柄）.

次いで4月21日の15,707尾，4月17日の14,439尾，4月1日の13,312尾，4月5日の13,145尾の順であった。漁獲尾数が1万尾以上となった日数は，前年度の4日から8日に増加した。

ワラサ（2～6kg未満）の全漁獲尾数は，71,377尾（前年度の34%）で，過去50年で33番目の漁獲尾数であった（図1中段）。ワラサの入網は，4月と5月にまとまった。最も多く漁獲された月は4月で，3月から6月までの4か月で年間漁獲尾数の93%を占めた。全漁場合計の漁獲尾数が最も多かった日は4月10日の5,116尾であり，次いで4月26日の3,221尾，5月19日の3,154尾，4月21日の2,562尾，5月5日の2,347尾の順であった。漁獲尾数が1万尾以上となった日数は，前々年度に6日，前年度に2日あったが，今年度はなく，低調な漁獲となった。

イナダ（0.5～2kg未満）の全漁獲尾数は，15,772尾（前年度比114%）で，当歳魚が主体となる8月～9月を入れない集計期間では11,095尾（前年度比86%）であった。前年度に引き続き低調な漁獲で，年度の合計では過去50年で46番目の漁獲尾数であった（図1下段）。

#### 関連報文

三重県（2025）：令和5定置年度 三重県ブリ定置漁獲統計.